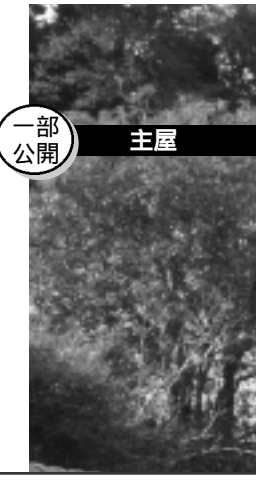


文化財通信

新春スペシャル

『江川家住宅』は重要文化財の宝庫。



一部公開 主屋

指定文化財紹介シリーズ7 国指定重要文化財 江川家住宅

問合せ 社会教育課
電話 055 948 1461

その21

一月一日号で紹介したと
り、江川家住宅(建造物)
文跡葦山役所跡と二重に指
され、保護されています。
時代々に代々代官を務めた
川家の建物群で、十五棟が
重要文化財として指定され
ます。

指定建物 計七棟

主屋：十五間×十間、五
一・三平方メートルの大き
く、屋根は茅葺きですが昭
二十八年の修理工事で銅板
葺せられています。この建
物は主に江戸時代の部材が
残っていますが、一部に南
北時代のものが残されてい
ます。内部には大きな土
間があり、室内は式台、玄
間、使者の間、控えの間、
の間、お茶の間、台所な
ど多くの部屋に分かれてい
ます。土間に入ると、生きた
まの木を使ったと言われる
大きな柱、屋根全体を支え
る四角い柱や屋根裏の繊
細な竹矢来に圧倒されま
す。

書院：主屋の奥に連なる
十二畳の茅葺き建物。江戸
時代の建物で、ここからの
眺望はすばらしく、明治
天皇の皇后、昭憲皇太后
が御休みになされたこと
もあり

肥料蔵(西蔵)：江戸時
代末の土蔵で、屋根は茅
葺き。置き屋根の兜造り
といわれる特殊なもの。
底の屋根が伊豆石(凝灰岩)
で葺かれています。この建
物は二階建てですが、すべ
ての柱が内側に少し傾い
ている四方転び(お寺の鐘
楼のような構造)になって
おり、正面から見ると将
棋の駒のように見えるた
め、駒蔵の別名があります。

仏間：江川家代々の先
祖を祀る建物で、主屋か
ら渡り廊下で繋がってい
ます。江戸時代の建物で
四四・二八平方メートルの
茅葺き。
東蔵：明治時代の土蔵
で、屋根は棧瓦葺き。四
四・六六平方メートルの
二階建て。

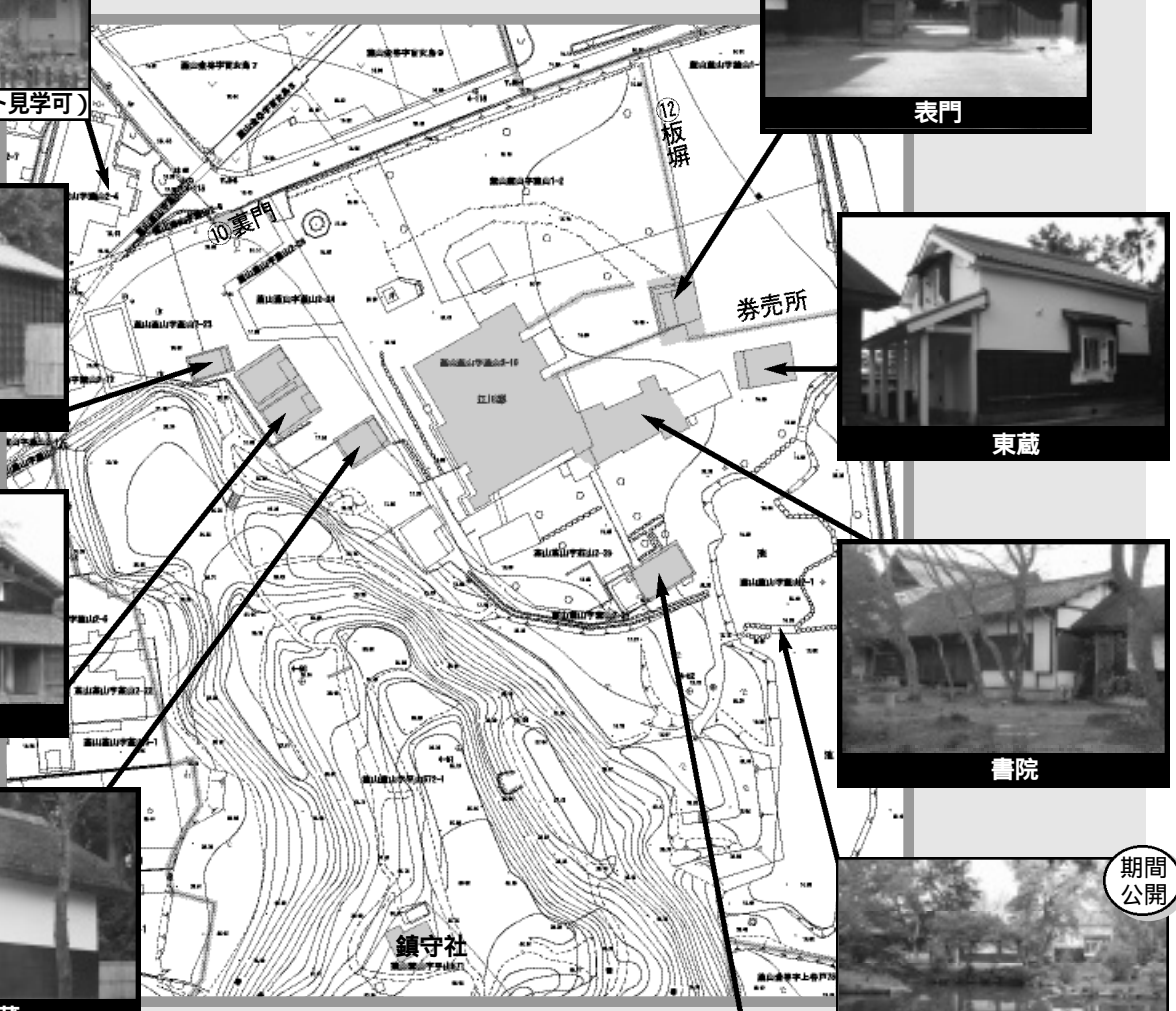
武器庫：江戸時代末
の建造物で、一九・九八
平方メートルの瓦葺き。
火薬の原料や武器(足柄
の銃)などが入っていました。
爆発や火災の危険性があ
るため、主屋から最も遠
いところに建てられています。

表門：江戸屋敷にあ
ったものを移したもので、
安政年間(一八五〇～一
八五九)に建てられたも
の。武家の屋敷にふさわ
しい薬医門で、切妻造、
棧瓦葺き。

【附指定建物 計八棟】
南米蔵：明治時代に造
られた二九・四四平方メ
ートルの土蔵で、屋根は
棧瓦葺き。正面に庇が付
く。展示室として公開中。

北米蔵：大正時代に作
られた三四・五六平方メ
ートルの土蔵で、南米蔵
に近似する。床面には当
時としては貴重な畳だ
ったコンクリートの一部
が残されている。
裏門：江戸時代に造ら
れたもので、薬医門。両
側に袖堀が付く。富士山が
眺められ、谷文晁がここ
から富士を描いたこと
で有名。
鎮守社：裏山の中にあ
り、江戸時代前期の建
造。天満宮に八幡神を合
祀する。こから葺き。
土堀・板塀：主屋や表
門から延びて、屋敷内
を区画している堀。

『江川家住宅』建造物等配置図



No. 12 文化協会 だより 本部

このたびは文化協会に「プリザードフラワーの会」が加入しました。プリザーブドフラワーとは、生花に特殊な加工を施すことで、長く楽しめるようにしたお花のことです。興味のある人は、お気軽にご連絡ください。
問合せ 土屋
電話 055(949)1543